

2020 雪山入門セミナー修了山行・武奈ヶ岳

暖冬のためこんなに雪が少ない厳冬期の比良は初めてだった

2020年2月22日～23日

<参加メンバー> 9人(男性7人、女性2人 内、受講生4人、スタッフ5人)

<天候> 2/22 雨後曇り、未明雪 2/23 曇り時々雪後曇り

< コースタイム >

2/22(土)

JR大阪駅7:45発 = 比良駅8:58着、9:30出発 =
10:48イン谷口 = 11:09大山口 - 12:20青ガレ -
13:20金糞峠13:37 - 14:44八雲ヶ原(テント設営)

2/23(日)

八雲ヶ原6:30出発 - 7:52コヤマノ岳分岐 - 8:
09西南稜出合 - 8:13武奈ヶ岳(滑落停止実技)8:
35 - 9:24イブルキノコバ - 9:40八雲ヶ原(雪崩
ビーコンの実技、テント撤収)11:06発 - 11:32北
比良峠 - 12:40カモシカ台 - 13:18大山口 - 13:
40イン谷口 = 14:45比良駅(駅前の「一休」で反省
会)

< 山行の概要 >

2020年雪山入門セミナーの受講生は一般4名、会員5名であったが修了山行参加者は一般2名、会員3名(1名は2/22のみ)となった。

一週間前の堂満岳の実技の時に今冬の比良の積雪状況は分かっていたが、情けないくらい雪が少なかった。このため、当初予定のコヤマノ岳での幕営は無理なため、計画を変更して八雲ヶ原で幕営し、武奈ヶ岳のピストンに切り替えた。

初日は朝から雨。ほぼ予定どおりに八雲ヶ原に着いたが、雪不足のためスノーマウント造り(簡易雪洞)はできなかった。

2日目は寒気の流入で気温は結構下がっていた。貸し切りの八雲ヶ原のテント場を後にして武奈ヶ岳をピストンしたが、頂上あたりも雪が少なく、予定の滑落停止の実技は形だけにならざるをえなかった。

今回の修了山行は暖冬による雪不足のため、予定したメニューが十分にこなせなかったが、参加されたメンバーはテント生活や雪上歩行など一定の良い経験はできたかと思う。



1. 比良駅を出発



2. 小雨が降る中、武奈ヶ岳をめざす



3. 樹林の中の舗装道を進む



4. 堂満岳への分岐を通過



5. イン谷のトイレ前に到着



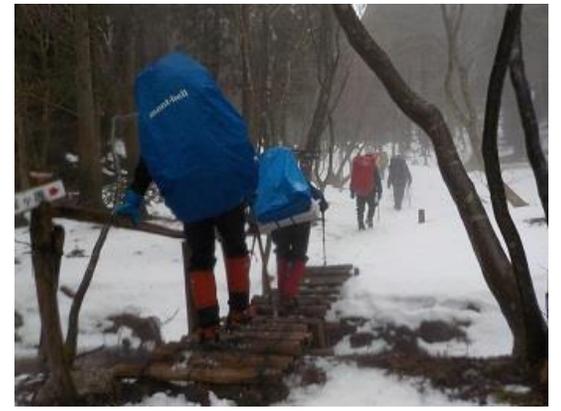
6. 大山口を通過 雪は全くない



7. 金糞峠に到着 ようやく雪がチラホラと現われる。奥ノ深谷側には雪があり、下りとなるためアイゼンを付ける



8. 金糞峠から一旦下る



9. 奥ノ深谷源流部には小さな橋が数カ所ある



10. 積雪は 10cm程度しかない



11. また小橋を渡る



12. 幕営予定地の八雲ヶ原に着いたが、ここも積雪量は少なく、10~20 cmしかない



13. テント設営のため、早速、みんな揃って圧雪作業にかかる



14. 賑やかにラインダンス



15. 最後はスノースコップで整地し、レベルを出す



16. ジャンボエスペースの設営



17. こっちはダンロップテントの設営



18. ようやくテント設営完了



19. 2/23早朝、テントの脇に可愛い雪のウサギちゃんが出現



20. 武奈ヶ岳目指して出発



21. 途中から夏道ではなく尾根道を進む



22. 夏道に戻り、コヤマノ岳分岐を通過



23. 岩と雪のミックスした急斜面を登る



24. その2



25. 西南稜との出合を通過



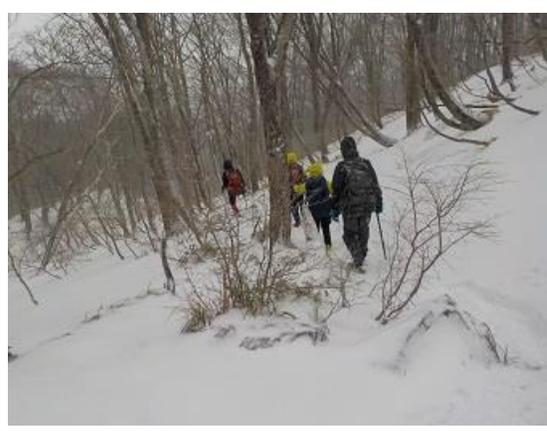
26. 武奈ヶ岳頂上に到着



27. カメラマン以外全員集合



28. 頂上近くに僅かだがまとまった雪があったので、滑落停止の説明を行い、ピッケルの使い方、体勢の実技を行った



29. 下山を開始する



30. イブルキノコバを通過



31. 八雲ヶ原のテント場に戻ってきた



32. 雪崩ビーコン操作の実技を行った後、テントの撤収にかかる



33. 撤収を完了し、パッキングして下山の準備をする



34. 下山は往路の正面谷ではなくダケ道ルートを使った。雪の少ない北比良峠に到着



35. その2



36. カモシカ台を通過



37. 大山口に到着し、沢を徒渉する



38. その2



39. 予定より早く比良駅に到着した。いつもの比良のソナタの「一休」でビール、熱燗により反省会を行い、修了山行は無事終了した。一休のおかあちゃん、ずっと元気でいてくださいね



比良駅から見た比良の山々
一週間前の堂満岳の実技の時もそうだったが、今冬は情けないぐらい雪が少なかった